

BHシリーズがさらに性能向上 BH-2新登場!

New!

BH-2

● オリンパスシステム顕微鏡

BHS

BHS型は発売以来好評のBH型を基本型として「各部の性能向上」を目標に改良されたBH2シリーズの最高級タイプです。

- 照明性能がすぐれ、1×～100×までの対物レンズの性能を十分に発揮できる、ケラー照明。
- 鏡筒長定常装置の採用によって、眼巾の個人差による対物転換時のピントのズレを最少限にし、特に顕微鏡撮影時のピント合せが双眼部から可能になり、能率の向上に役立ちます。
- わずらわしい光源の芯出し操作を不要にしたプリセンター式ハロゲン電球12V 100Wを採用。合せて2000時間(定格使用時平均寿命)という長寿命を実現。
- 粗動ハンドルは1回転のストローク15mmと標本の着脱操作に最適。減速機構により軽くスムーズに動きます。
- 微動ハンドルはゴムのキャップをかぶせることにより指一本で軽く動き長時間の検鏡でも疲労が少なくなります。
- 標本を押えるツメの形状にも工夫をこらし、ワンタッチで標本の着脱可能。
- ベース内光路はホコリやゴミが入りにくいように他と隔離されています。



全自動写真撮影装置PM-10-AD組合せ

顕微鏡・内視鏡・医療器・カメラ等の光学総合メーカー

オリンパス光学工業株式会社 **OLYMPUS** オリンパス販売株式会社

カタログ・パンフレット等のご請求は ☎101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル) ☎03(251)8971

27年連続文部大臣賞に輝く学研の映画・スライド!

スライド

◎生物の系統と分類(全5集)一文部大臣賞受賞—

(監修 東京大学名誉教授 前川 文夫)
東京教育大学名誉教授 丘 英通)

第1集	分類の概念と方法	36コマ	¥ 5,400
第2集	植物の系統と分類 I	60コマ	¥ 9,000
第3集	植物の系統と分類 II	72コマ	¥10,800
第4集	動物の系統と分類 I	72コマ	¥10,800
第5集	動物の系統と分類 II	48コマ	¥ 7,200

◎生命と分子シリーズ(全2集)一文部大臣賞受賞—

(監修 東京教育大学名誉教授 三輪 知雄)

第1集	物質交代とエネルギー交代	60コマ	テープ付	¥12,000
第2集	遺伝子とそのはたらき	72コマ	テープ付	¥14,400

16mm映画

◎海藻の生殖=アサクサノリ=一文部省選定— 17分カラー ¥130,000

(監修 須藤 俊造)

◎アオミドロの観察一文部省選定— 15分カラー ¥110,000

(監修 日本大学教授 山岸 高旺)

好評の豪華写真集

◎皇居の四季(B4判・289頁) ¥20,000

吹上御苑の植物など皇居の四季を伝えるカラー約250点

◎日本アルプスの蝶 田淵 行男(A4変型・446頁) ¥25,000

氷河期の後裔〈高山蝶〉のすべてを克明に記録した豪華写真集

●お問い合わせは……

学研
(学研研究社)

映像局/☎146 東京都大田区仲池上1-17-15 ☎(03)754-5637

藻場・海中林

日本水産学会編

(A5判・160ページ・定価1600円)

栽培漁業の振興が叫ばれ、魚介類産卵場としての藻場・海中林が注目を集めている。

本書はこの緊急の課題を日本水産学会がシンポジウムとして取上げた成果を上梓するものである。その内容は藻場の生態・魚介類と藻場・藻場の造成方法を、八塚剛・三浦昭雄・斎藤雄之助・須藤俊造・菊池泰三・布施慎一郎博士らが、最新の情報を持ち寄る。

海洋環境調査法

日本海洋学会編 海洋環境保全のために海洋学会がその総力を結集して編纂した海洋観測マニュアル。A5・¥6500。

新編水質汚濁調査指針

日本水産資源保護協会編 水質汚染の物理・水質・底質・生物相・事故調査の手技を詳細に解説する。A5・¥6000円

赤潮——発生機構と対策

日本水産学会編 赤潮の生物学・その発生機構の解明して、被害防止方策をさぐる今日的な課題。A5・¥1600。

東京都新宿区三栄町8・tel 359-7371~5

恒星社厚生閣

海藻の生物学 —細胞・個体・個体群・群落—

A.R.Oチャプマン著／千原光雄訳／B6判・192頁・定価1400円

近年、海洋牧場や海洋コンビナート構造が脚光をあびつつある。本書は、そのうちでもあまり知られていない海藻について、生態学や形態学研究の現況と将来の展望を平易に述す。

藻類研究法

西沢一俊・千原光雄編／A5判・776頁・定価14000円

本書は、藻類の研究に関する学際的研究成果として刊行されたものであり、藻類の分類・培養・生態・生理・生化学など全般にわたって研究手段・方法が詳細に述べられている。

光合成研究法

加藤 栄・宮地重遠・村田吉男編／A5判・524頁・定価7000円

物質生産と光合成機作を柱に構成されており、ルーチンとフィールドワーク両面の研究手段・実験法について詳述。また実験以前に考慮すべき基本的事項も取扱われている。

■生態学研究法講座

- 11. 水界微生物生態研究法 関 文威著／定価1200円
- 13. 動物・植物および微生物の相互関係研究法 飯泉・斎藤著／定価1200円
- 24. 水界生物生態研究法 I 山岸・福原・古田著／定価1800円

共立出版

112 東京都文京区小日向4-6 電話03(947)2511／振替東京1-57035

技術の日立

HITACHI

世界に先駆けて1.4Åの高分解能と トータルシステムを実現した 200kV電子顕微鏡(H-700H)

全く新しい方式の多段加速高圧電子銃を採用した200kV日立高分解電子顕微鏡(H-700H)。このクラスでは世界で初めて、1.4Åの高分解能を実現しました。電子銃およびレンズ系の小型軽量化、操作性の向上により、金属材料の研究はもとより、比較的厚みのある試料による研究の必要性が高まっている、医学・生物学の分野でもご利用いただけます。

- 特長
1. 透過電子顕微鏡の機能に、走査電子顕微鏡、微小部X線分析の機能を加え、電子線を利用するすべての研究に対応させました。
 2. 薄膜試料の拡大像を見ながら、その中の微小部分の元素分析ができます。
 3. TEM、SEM、STEM、X線分析の機能が、ボタン操作で瞬時に変換できます。
 4. ユーセントリックゴニオメーターを利用してステレオ観察、三次元的立体解析が可能です。

5. 排気系は、クリーンな超高真空が得られる理想的な独立2系統排気システムを採用しています。



■仕様

- 分解能 / 1.4 Å
- 倍率 / 200倍 - 450,000倍
- 加速電圧 / 75・100・150・175・200 kV
- 電子銃 / 多段加速方式
- レンズ系 / 4段結像式 ウルトラズーム方式
- カメラ部 / 全自動露出計連動シャッター
シャッター連動自動フィルム送り
- 排気系 / 全自動シーケンス制御

H-700H

日立高分解能電子顕微鏡

日製産業株式會社

本社 / 105 東京都港区虎ノ門1丁目26番5号(第17森ビル) (03)504-7211
営業所 / 大阪(06)366-2551 名古屋(052)581-6211 福岡(092)721-3501
広島(0822)21-4514 仙台(0222)64-2211 札幌(011)221-7241
富山(0764)24-3386 筑波(0298)23-7391 高松(0878)62-3391
岡山(0864)22-4812 新潟(0252)41-3011 京都(075)241-1591
秋田(0188)64-2244 沖縄(0988)78-1311-7

学会出版物

下記の出版物をご希望の方に頒布致しますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員は各号1,000円、非会員には各号1,500円、欠号：1巻1-2号、5巻1号、6巻1-3号、7巻1-3号、8巻1-3号、9巻1-3号。
2. 「藻類」索引 1-10巻、価格、会員1,000円、非会員1,500円。11-20巻、会員1,500円、非会員2,000円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類25巻増補、1977。A 5版、xxviii+418頁。山田先生の遺影・経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文50編(英文26, 和文24)を掲載。価格5,500円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. ABBOTT・黒木宗尚共編、1972。B 5版、xiv+280頁、6図版。昭和46年8月に札幌で開催された北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20編の研究報告(英文)を掲載。価格3,000円。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977。B 5版、65頁。昭和49年9月、札幌で行なわれた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4論文と討論の要旨。価格700円。

Publications of the Society

Inquiries concerning copies of the following publications should be sent to the Japanese Society of Phycology, c/o Institute of Biological Sciences, The University of Tsukuba, Sakura-mura, Ibaraki-ken, 305 Japan.

1. Back numbers of the Japanese Journal of Phycology (Vols. 1-28, Bulletin of Japanese Society of Phycology). Price, 1,250 Yen per issue for members, or 1,800 Yen per issue for non member. Lack: Vol. 1, Nos. 1-2; Vol. 5, No. 1-2; Vol. 6, Nos. 1-3; Vol. 7, Nos. 1-3; Vol. 8, Nos. 1-3; Vol. 9, Nos. 1-3. (incl. postage, surface mail)
2. Index of the Bulletin of Japanese Society of Phycology. Vol. 1 (1953)-Vol. 10 (1962), Price 1,500 Yen for member, 2,000 Yen for non member, Vol. 11 (1963)-Vol. 20 (1972). Price 2,000 Yen for member, 2,500 Yen for non member. (incl. postage, surface mail)
3. A Memorial Issue Honouring the late Professor Yukio YAMADA (Supplement to Volume 25, the Bulletin of Japanese Society of Phycology). 1977, xxviii+418 pages. This issue includes 50 articles (26 in English, 24 in Japanese with English summary) on phycology, with photographs and list of publications of the late Professor Yukio YAMADA. Price, 6,000 Yen. (incl. postage, surface mail)
4. Contributions to the Systematics of the Benthic Marine Algae of the North Pacific. Edited by I. A. ABBOTT and M. KUROGI. 1972, xiv+280 pages, 6 plates. Twenty papers followed by discussions are included, which were presented in the U.S.-Japan Seminar on the North Pacific benthic marine algae, held in Sapporo, Japan, August 13-16, 1971. Price 4,000 Yen. (incl. postage, surface mail)
5. Recent Studies on the Cultivation of *Laminaria* in Hokkaido (in Japanese). 1977, 65 pages. Four papers followed by discussions are included, which were presented in a symposium on *Laminaria*, sponsored by the Society, held in Sapporo, September 1974. Price 700 Yen. (incl. postage, surface mail)

昭和56年12月7日 印刷
昭和56年12月10日 発行

©1981 Japanese Society of Phycology

禁 転 載
不 許 複 製

編集兼発行者

堀 輝 三

〒305 茨城県新治郡桜村天王台 1-1-1
筑波大学生物科学系内

印刷所

学術図書印刷株式会社

〒176 東京都練馬区豊玉北2丁目13番地

発行所

日本藻類学会

〒305 茨城県新治郡桜村天王台 1-1-1
筑波大学生物科学系内
振替 宇都宮 8-4887

Printed by GAKUJUTSU TOSHO Printing Co.

本誌の出版費の一部は文部省科学研究費補助金(研究成果刊行費)による。

藻 類

目 次

榎本幸人・奥田一雄：緑藻キッコウグサの生活史と体形成について……………(英文)	225
長島秀行・福田育二郎：日本産イデユコゴメおよび近縁藻の形態について……………(英文)	237
M. ラトナサバパティール・瀬戸良三：西マレーシアにおける紅藻チスジノリ属の 2 新種……………(英文)	243
S. リンドストローム：紅藻オキツバラの雌性生殖器官の構造と戦略……………(英文)	251
工藤利彦・増田道夫：紅藻モロイトグサの分類学的研究……………	263
田中正明：名古屋市周辺の溜池に出現する植物プランクトン (5) アンキストロデスム属とモノラフィディウム属……………	273
丸伊 満・稲井宏臣・吉田忠生：北海道忍路湾におけるホンダワラ類の生長と成熟について……………	277



ノート

籙 熙・石川依久子：カサノリの胞嚢内核分裂で見られる長い染色体……………(英文)	259
赤塚伊三武：オバクサおよびカタオバクサの学名……………	272
吉田忠生・松江英樹・福沢晃夫：紅藻ユカリに含まれる含ハロゲンモノテルペノイドについて……………	282
千原光雄：中国における藻類研究の現状 (2)……………	261
黒木宗尚：第13回国際植物学会議の出席報告……………	286
討 報……………	250, 283
新刊紹介……………	257
学会録事……………	288